第３学年 総合的な学習の時間（はばたき学習）学習指導案

授　業　者　　大　森　果　歩
佐々木　駿　斗
門　脇　千　尋
研究協力者　　細　川　和　仁

１　単元名　みんなの笑顔があふれるまちⅠ　～秋田市ハッピー大作戦～

２　子どもと単元

(1) 子どもについて

本校の子どもたちは、秋田市内の各地域から集まってきているため、学校周辺の地域にあまり馴染みがない様子だったが、「どんなお店があるのか」「通町商店街とはどんなところか」など自分が知らないことや調べてみたいことに関心をもち、学校周辺や通町商店街の探検・お店の見学・調査活動に意欲的に取り組んだ。そこで分かったことや気が付いたことを新聞やクイズにしてまとめ、発表会を行うと「どうしてだろう」「他のお店について知りたい」と新たな疑問を考え、もっと調べてみたいという意欲を高めることができた。

お店の「もの・こと」について興味をもって調べることができる一方で、お店の「人」の思いについて理解を深めるまでには至っていない。これは学校生活においてもいえることである。相手の気持ちを考えずに行動したり、他者の考えを自分の学びに生かそうとしなかったりする姿も見られる。また、探究の過程を振り返る場面では活動の感想にとどまり、どんな問いをもってどのようなことを学んだのか、自分の学びを自覚し、思考の変容に気付いたり、更新したりしていくことに課題が見られる。これらのことから、お店の「人」の思いについて学ぶことで、相手意識をもって多様な他者と思いやりのある心で関わり合い、地域一体があたたかい人々の笑顔であふれるまちになるように活動する姿が見られることを期待している。

(2) 単元について

本単元は、第３学年から始まる総合的な学習の時間の最初の単元「みんなの笑顔あふれるまちⅠ」である。社会科「わたしたちのまち」の学習で学校周辺の町探検に出掛け、地域の建物や土地、交通の様子について調査した。すると、「学校の周りには家やコンビニが多い」「他にお店はないのかな」という疑問が生まれ再調査した。そこで学校の近くに通町商店街があることに気付き、「通町商店街の？（ハテナ）追究隊」として様々な問いをもちながら、探究のサイクル（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を持続的に回すことを大切にした。その学習から、お店の「人」の思いに関する新たな課題を設定し、お店の人のためになるハッピー大作戦を提案する。通町商店街のお店の人やお客さんが笑顔になっていくことで、自分たちの力で自分たちのまち秋田市が笑顔あふれる幸せなまちになることを期待して「秋田市ハッピー大作戦」とした。これは様々な人の思いについて考えるものであり、第４学年の「みんなの笑顔あふれるまちⅡ～よりよい関わり合いを求めて～」につながる。

本単元で扱う通町商店街は、本校と同じ秋田市保戸野地区にある。今から 400 年ほど前、朝市を開く特権が与えられた唯一の通りであり、客人や旅人が多く通る秋田藩の顔であった。また、長い時間を掛けて築き上げてきた歴史ある老舗の多い商店街であり、現在は生鮮食品・菓子・生花・陶磁器・薬局・家電・自転車等を販売する約 40 店舗が営業している。商人町として栄えた当時のように賑わいがあり、地域住民に親しまれるコミュニティ性の高い商店街、このまちの人々の満足と笑顔のお手伝いを理念としている商店街である。この通町商店街に、実際に自分たちの足で赴き、自分の目で見て、直接聞くことで実感を伴った深い関心が生まれたり、予想と現実の違いに気付いたりする瞬間がある。これは地域素材や人材と関わることでしか学べない本物の価値である。特に、お店の「人」の思いに着目することで、目に見えない意図や願いについて問いを深めたり、自己の生き方を考えるきっかけとなったりする。そして、地域の人やまちに還元していくことで社会への参画意識が芽生え、地域への愛着も育まれるだろう。

以上の点を踏まえ、本単元には、本学年の子どもが通町商店街のお店の「もの・こと」の背景にある「人」の思いについての探究の過程で、自らの考えや学びを更新したり、豊かな人間性を育んだりするための教材性を十分に有していると考えられる。

(3) 指導について

本単元では、通町商店街のお店の**「人」の思いや努力、悩みに着目し、お店の人のために自分たちにできることを考え、よりよく表現する**という資質・能力の向上を図りたい。

そのために、単元の導入（課題の設定）では、「通町商店街の？追究隊」で分かったことや探究のレベルアップ表（レベル１：お店のもの、レベル２：お店のこと、レベル３：お店の人の思い）を提示し、これまでの学びを視覚化しながらお店の「もの・こと」に加え、お店の「人」に思いを馳せることができるようにする。そして実調査から新たな問いをもち、みんなで解決したい共通課題を設定し、自分が追究したい個人課題を明確にしていく。

単元の前半（情報の収集・整理分析）では、調べてみたいお店についてインターネットで調べ、実際にお店の人に聞きたいことを考える。その後、見学するお店を訪ねて質問し、お店の「もの・こと・人」の視点で分かったことを分類する。特に、お店の人の様々な思いに気付くことができるように、働いていてうれしい時や願いについてはピンク色のハートカードに、働いていて大変な時や困り事については青色のハートカードに整理する。そして見学に行った店舗のお店の人の顔写真と共に通町商店街全体のマップに掲示し、全体で共有する場を設ける。ここで以前話を聞いた通町商店街の代表の方の悩みを示したり、お店の「もの・こと」にはどんな思いが込められているか問い掛けたりして更に聞きたいことを考える時間を十分に確保する。そして、再度お店の人に質問しに行き、新たに分かったことについても整理・分類する。このように、調べる視点を多様化し、何度も地域の人と関わる機会を設けることで、地域への親しみや関心を高めながら自分の考えを広げたり深めたりする姿を期待する。

単元の中盤（課題の再設定）では、お店の人の悩みを集めた青色のハートカードに着目し、自分たちの力で悩みを解決し、もっとピンク色のハートカードを増やしたいという意欲を引き出す。そのために自分たちにできることはないかという新たな課題を設定し、見学したお店ごとに原因と解決策を話し合う。この悩みを解決するハッピー大作戦を考えることで、お店の人もお客さんもまちのみんなが笑顔になれると気付くことができるようにする。そして、考えた解決策を他のお店グループや他学年の子ども、教師、保護者に聞いてもらうミニ発表会を行い、良い点やアドバイスを付箋に書いてもらう。その他者からもらった意見を整理・分析し、お店の人のためになるような解決策について再考する場を設ける。

本時では、他のお店グループの解決策についてお店の人とお客さんの立場になって考え、話し合う。互いに他者の立場で解決策の妥当性や具体性を考えることを通して、自分たちの考えを変容したり更新したりすることができると考える。

単元の後半（まとめ・表現）では、自分たちが考えた解決策を実際にお店の人にプレゼンテーションする準備を進める。お店の人にしっかり伝わるように、事前に発表会を行い、発表の様子を動画でリフレクションしたり他者からアドバイスをもらったりする場を設ける。そうすることで相手意識をもって、よりよく表現する力や社会への参画意識も高まると考える。

単元の終末では、これまで調べてきた通町商店街との関わりやお店の人の思いについて、どのように考えが変容したのか捉えることができるように、積み重ねてきたシートを基に、自分の学びを振り返る時間を確保する。その際、①自分の考えが変わったこと、②新たに気が付いたこと、③これからの自分の生き方という視点を提示し、学んだことを自覚できるようにする。また、最終的に完成した探究レベルアップ表（レベル４：お店の人のためにできること、レベル５：お店の人によりよくプレゼンテーションしよう）から、お店の人の思いに着目できたこと、お店の人もお客さんも笑顔になれるようなアイデアを考えて伝えることができたことを価値付ける。自分たちの学校がある地域に何度も関わり、自分たちで考えたハッピー大作戦が通町商店街から秋田市全体に広がっていくと、もっと多くの人の笑顔があふれるまちになるということに思いを馳せ、より地域への愛着を深めていきたい。

３　単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

(1) 通町商店街のお店の「もの・こと・人」について調べる活動を通して、情報を収集し分析することができる。　〈B-b、B-c、B-d、B-e〉

(2) 通町商店街のお店の人の思いや努力、悩みに着目し、お店の人のために自分たちにできることを考え、よりよく表現することができる。　〈B-f、B-g、C-a、C-b、C-c〉

(3) 通町商店街のお店の人の思いや自分たちにできる解決策について主体的に考え、課題を解決しようとする。 〈A-a、D-a、D-b、D-c、D-d、D-h〉

4　単元の構想（総時数 32 時間）

みんなの笑顔があふれるまちⅠ　～通町商店街の？追究隊～
通町商店街にあるお店について調べる活動を通して、分かったことや気が付いたこと、学んだことを相手に分かりやすく伝わるように表現する。

本単元

時間	学習活動 （・は予想される子どもの反応）	教師の主な支援	評価 〈本校の資質･能力との関連〉
1	(1)「通町商店街の？追究隊」の学習を振り返り、共通課題を設定する。 ・お店の人の気持ちを調べたい！ ・通町商店街の他のお店の人は、どんな思いで働いているのだろう？	・前単元の学習で学んだことから共通課題を設定することができるように、「もの・こと・人」に関する学びの足跡や探究レベルアップ表を掲示する。	・通町商店街のお店の人の思いについて考え、問題を見付けている。〈A-a〉
	共通課題：通町商店街のお店の「人」の思いとは？		
2 3	(2) 通町商店街のお店について調べ、共有する。 ・和菓子屋さんが多いね。 ・知らないお店も結構あるね。	・様々なお店の人に着目できるように、「通町商店街のお店の人マップ」を提示する。	・通町商店街のお店について課題に応じた情報収集方法を選択し、情報を集めている。〈B-d〉
4 5	(3) 調べたいお店を選び、情報収集し、個人課題を設定する。 ・高砂堂にはどんな商品があるのかな。 ・は虫類研究所のお店の人のおすすめの生き物は何だろう。	・お店について調べたことから問いをもち、個人課題を設定することができるように、事前に情報収集する時間を十分に設ける。	・調べたことから疑問に思ったことを課題につなげている。〈B-b〉
	個人課題例 ・パン工房ボーヌでは、なぜパン以外のいろいろな種類の商品を売っているのか。 ・川口屋のお店の人は、どんな思いで、どのような工夫をしているのか。		
6 7	(4) それぞれのお店の人に、質問したいことを考える。 ・どんな工夫をしているのかな。 ・働いていてうれしい時はどんな時だろう。	・お店の人の思いや努力、工夫していることについて聞くことができるように、事前に質問することを話し合う場を設ける。	・収集した情報の中から必要な情報を選択し、校外学習の計画を立てている。〈B-c､e〉
8 9	(5) 調べたいお店に見学に行き、質問する。 ・なぜたくさんの商品があるのか分かった！ ・お店の人の思いについて聞けた！	・インタビューを通して情報を集めることができるよう、調べたいことを確認しながら質問するように促す声掛けをする。	・調べたいことに応じてお店の人に質問したり疑問に思ったことを解決したりしている。〈B-d､C-b〉
10	(6) 個人課題について自分の考えをまとめる。 ・自分が疑問に思ったことについて解決できた。	・調べて分かったことや気付いたことをまとめる時間を確保し、学びを自覚できるようにする。	・調べて分かったことから、自分自身の個人課題に対する考えをまとめている。〈B-f〉
11 12	(7) 調べたお店について、分かったことを整理し、全体で共有する。 ・どのお店も色々な工夫があるね。 ・お店の人は、お客さんの笑顔のために働いていることに気付いた。	・お店の人には様々な思いがあることに気付くことができるよう、お店の人の思いをピンクと青色のハートカードに視覚化し共有する場を設ける。	・それぞれのお店の人の思いや努力、工夫について説明したり聞いたりし、共通点や違いに気付いている。〈B-g､D-a､h〉

13	(8) お店の人の悩みや「もの・こと」に込められている思いについて質問したいことを考える。 ・悩んでいることはあるのかな。 ・なぜ、りんごもちがおすすめなのかな。	・お店の人の悩みや「もの・こと」に込められた思いについて考えることできるよう、以前調べた金子さんの思いに着目する。	・お店の人の思いについて新たな視点で問題を見付けている。 〈A-a〉
14 15	(9) 調べたいお店に見学に行き、質問する。 ・お店の人には、色々な悩みがあったなんて知らなかった！ ・商品にお店の人のこだわりが詰まっていることが分かった！	・インタビューを通して、前回からの深まりを実感できるように、「もの・こと」に込められている思いについて質問するよう声を掛ける。	・もっと知りたいと思ったことに応じて、お店の人に質問したり疑問に思ったことを解決したりしている。 〈B-d、C-b〉
16	(10) 共通課題に対する答えについて話し合う。 ・お店の人には悩みもあることが分かった！ ・お客さんの笑顔のために工夫していることが分かった！	・お店の人には悩みや「もの・こと」に込められた思いもあると気付くことができるように、お店の人の思いを共有する場を設ける。	・それぞれのお店の人の思いについて説明したり聞いたりし、共通点や違いに気付いている。 〈B-g、D-a、h〉
17 18	(11) お店の人の悩みの原因を考え、新たな共通課題を設定する。	・自分事として共通課題を設定することができるように、お店の人の悩みに着目する。	・調べたことから問題を見付けている。 〈A-a〉
	共通課題：お店の人の悩みを解決するために、自分たちにできることは何か。		
19 20	(12) 調べたお店ごとにお店の人の悩みを解決する取組を考える。 ・お客さんを呼び込むためのポスターを作ろう！ ・新商品を提案してみよう！	・お店の人の思いに着目して解決策を考えることができるように、お店の人の気持ちハートカードを活用する。	・お店の人の悩みを解決するために、自分たちにできることを考えている。 〈C-a、b、c〉
21 22	(13) ミニ発表会を行い、他者から意見をもらう。 ・解決策について色々な意見をもらえたから、もっと考えてみよう。	・他者から解決策についての意見をもらい、考えを深めることができるよう、他学年の児童、先生、保護者を招待する場を設ける。	・自分たちが考えた解決策について、表現している。 〈B-f、g〉
23	(14) 他者からの意見を基にお店の人のためになる解決策についてお店グループごとに話し合う。 ・お店の人のためになって自分たちにできることは何だろう。 ・他に良いアイデアはないかな。	・お店の人のためになる解決策について試行錯誤することができるよう、他者からの付箋を分類しながら考える場を設ける。	・他者からの意見を基にお店の人のためになる解決策を考えている。 〈B-c、e、f〉
24 本時	(15)「お店の人」と「お客さん」の立場になって、よりよい解決策について話し合う。 ・店長さんにとっては、A案の解決策がいい。 ・食いしん坊なお客さんにとって、セット商品はうれしいと思う。	・「お店の人」と「お客さん」の立場で解決策の妥当性や具体性を検討することができるよう、どの解決策がいいか選び、その理由を話し合う場を設ける。	・「お店の人」と「お客さん」の立場で、よりよい解決策について考えている。 〈B-c、e、f〉

25 26 27	(16) お店の人に、プレゼンテーションする準備・練習を行う。 ・お客さんが喜んでくれるお店カードを作って持って行こう！ ・プレゼンの仕方も練習しよう。	・より相手に伝わる方法を考えることができるように、動画で振り返る場を設ける。	・相手に伝わりやすい方法を考え、友達と協力しながら活動している。 〈B-f、D-a、b〉
28 29	(17) お店に行き、解決策についてプレゼンテーションする。 ・自分たちの考えがお店の人にしっかり伝わるといいな。 ・お店の人は喜んでくれるかな。	・自分たちが考えた解決策をお店の人に伝えに行くことで、地域の一員としての関わりを実感できるようにする。	・お店の人に、適切なマナーで関わったり、プレゼンしたりしている。 〈C-b、c〉
30	(18) 共通課題に対する答えについて考えたことをまとめる。 ・お店の人の役に立ててうれしい。 ・自分も笑顔になれた気がする！	・自分たちの活動に価値を見いだすことができるように、お店の人へのプレゼンテーションを通して学んだことや思ったことを振り返る時間を設定する。	・共通課題に対する自分なりの考えをまとめている。 〈D-d〉
31	(19) 自分たちのまち秋田市の現状や未来について考える。 ・秋田市の人々をもっとハッピーにしていきたいな。 ・自分にできることをもっと考えていきたいな。	・通町商店街から秋田市に視野を広げることができるように、秋田市の現状や未来について考える時間を設定する。	・地域のよさに気付き、秋田市の現状や未来について考えている。 〈D-c、d〉
32	(20) これまでの探究を通して、学んだことを振り返る。 ・最初は通町商店街のことは全然知らなかったけれど詳しくなれた！ ・通町商店街だけじゃなく、秋田市がハッピーになる！大成功だ！	・これまでの探究を振り返り、自己の考えの変容や学びを自覚できるように、振り返りシートや探究レベルアップ表を用いる。	・探究のスタートからゴールまでを振り返り、自分が学んだことについて考えている。 〈D-h〉

◎本単元で育む主な資質・能力

通町商店街のお店の「人」の思いや努力、悩みに着目し、お店の人のために自分たちにできることを考え、よりよく表現することができる。 〈B-f、B-g、C-a、C-b、C-c〉

第４学年　みんなの笑顔あふれるまちⅡ　～よりよい関わり合いを求めて～

多様な他者との関わり合いを通して、自分と他者との特性の違いに気付き、よりよい関わり方について考える。

5分	③　他のお店グループの解決策について、お客さんの立場で自分の考えをもつ。 （個） 【お客さんの立場で考えている児童】 ・自分のお父さんだったら、ポスターを見て休みの日に何か買って来てくれるかもしれない。 ・自分のお母さんだったら、割引やタイムセールで安くなるのはうれしいかも。 ・自分のお兄ちゃんは、新商品があったら買って来ると思う。 ・自分のおじいちゃんだったら、動画よりチラシの方がいいと思う。	・お店の人の悩みを本当に解決できるか考えることができるよう、新たに「お客さん」という立場で解決策について考える視点を提示する。 ・どんなお客さんかを想像することができるように、自分にとって身近な家族だったらという視点で考える時間を設定する。
15分	④　様々なお客さんの立場で、よりよい解決策について話し合う。（グループ） 【お客さんの立場で考えている児童】 ・通町商店街のことを知らない人だったら、お店紹介動画でお店を知って買い物に行ってみようと思うかも。 ・常連のお客さんだったら、ポイントカードで安くなったり特典をもらえたりするのはうれしいかも。 ・和菓子が大好きなおばあちゃんだったら、食べやすい新商品は喜ぶと思う。 ・毎日仕事で忙しい人だったら、「夕方４時から焼き立ての食パンが並びます！」というように時間をポスターに書くといいと思う。 【お客さんの気持ちを考えることができない児童】 ・○○なお客さんはどう思うのかな。 【何を考えたらいいか分からない児童】 ・お客さんの立場で何を考えたらいいのかな。	○お客さんのためになる解決策について考えることができるよう、お客さんの立場で解決策についてどう思うか話し合う場を設ける。 ・様々なお客さんの立場で考えることができるように、様々なお客さんカードを用意する。 ・より具体的に解決策を深めていくことができるよう、様々なお客さんの気持ちになりきってより現実的な気持ちや行動について問い掛ける。 「お店の人」「お客さん」という立場で、お店の人もお客さんも笑顔になるよりよい解決策を考えている。 （発言・シート）〈B-c、e、f〉
5分	⑤　次時の学習の見通しをもつ。（全体） ・お店の人とお客さんの気持ちを考えて、よりよく提案できそう。 ・早くお店の人に伝えに行きたいな。 ・お店の人が喜んでくれるといいな。	・お店の人もお客さんも笑顔になれるような解決策を考えることができたことを価値付け、ハッピー大作戦をさらにパワーアップさせるという次時の見通しをもたせる。

本時改訂版

5　本時の実際（24／32）

(1) ねらい　「お客さん」の立場での思いに着目し、お店の人もお客さんも笑顔になる解決策について話し合うことを通して、より効果的な解決策を考えることができる。

〈B-c, e, f〉

(2) 展開

○自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動	教師の支援　評　価
5分	①　本時の学習の流れを確認し、全体のめあてを設定する。（全体） お客さんの気持ちになって、よりよいハッピー大作戦を考えよう。	・お店の人の悩みを本当に解決できるか考えることができるよう、新たに「お客さん」という立場で解決策について考える視点を提示する。
15分	②　自分たちが考えた解決策を他のお店グループに提案し、お客さんの立場で意見をもらう。（各教室） 【お店の解決策を提案する子ども】 ・お客さんからの意見を基に、また考え直したい。 ・お客さんの言うことに対して、もっと納得させるようにしたい。 【お客さんの立場で考えている子ども】 例 1) パン工房「ボーヌ」 ・学校のみんなにお店のことをＰＲしてもらえると、お店を知って買い物に来てくれるお客さんが増えると思う。 ・他のお店とのコラボ商品や新商品があると、いろいろなパンを買いに行きたくなると思う。 ・もっとどんな味なのか、どんなこだわりがあるのかについても知りたい。 例 2) 南蛮屋あおい ・他の地域や秋田駅など人が集まる場所にポスターを飾ると、お店のよさがより広まってお客さんも増えると思う。 ・コーヒーサービスで試飲できると、どんな味か分かって、買いたくなると思う。 ・コーヒーと一緒に食べるお菓子もあるといいかも。	・自分たちが調べてきたお店のことがお客さんにより伝わるように、発表内容について助言する。 ＜アイデアボード例＞ ボーヌ　『お客さんが少ない』という悩み 作戦　ポスターを作って学校に掲示する →お店や商品の絵、お店の人の思いを書く。 →学校の各教室や職員室に掲示してもらう。 ＜アイデアボード例＞ ボーヌ　『お客さんが少ない』という悩み 作戦　新しい商品を提案する →子ども向けの甘いパンがあるといいかも。 ＜アイデアボード例＞ 南蛮屋　『お客さんが少ない』という悩み 作戦　全校のみんなにチラシを配る →コーヒーの味やお店の人の思いを広めるチラシを作ってお店を広めよう。 ＜アイデアボード例＞ 南蛮屋　『外国人への説明が難しい』という悩み 作戦　外国語のポスターを飾る →お店のガラス戸に大きく飾ってもらおう。 ・お客さんの立場から解決策について考えることができるように、自分や家族がお客さんだったらという視点で考える時間を設定する。
20分	③　様々なお客さんの立場で、よりよい解決策について話し合う。（グループ）	○お客さんのためになる解決策について考えることができるよう、様々なお客さんの立場で解決策についてどう思うか話し合う場を設ける。

	【お客さんの立場で考えている児童】 ・通町商店街のことを知らない人だったら、お店紹介動画でお店を知って買い物に行ってみようと思うかも。 ・常連のお客さんだったら、ポイントカードで安くなったり特典をもらえたりするのは嬉しいかも。 ・和菓子が大好きなおばあちゃんだったら、食べやすい新商品は喜ぶと思う。 ・毎日仕事で忙しい人だったら、「夕方４時から焼き立ての食パンが並びます！」というように時間をポスターに書くといいと思う。 ・自分のお父さんだったら、ポスターを見て休みの日に何か買って来てくれるかもしれない。 ・自分のお母さんだったら、割引やタイムセールで安くなるのは嬉しいかも。 ・自分のお兄ちゃんは、新商品があったら買って来ると思う。 ・自分のおじいちゃんだったら、動画よりチラシの方がいいと思う。 【お客さんの気持ちを考えることができない児童】 ・○○なお客さんはどう思うのか分からない。 【何を考えたらいいか分からない児童】 ・お客さんの立場で何を考えたらいいのかな。	・様々なお客さんの立場で考えることができるように、様々なお客さんカードを用意する。 （お年寄り、常連さん、子ども、外国人、県外の人、商店街を知らない人等） ・より具体的に解決策を深めていくことができるよう、様々なお客さんの気持ちになりきってより現実的な気持ちや行動について問い掛ける。 「お客さん」という立場で、お店の人もお客さんも笑顔になるよりよい解決策を考えることができる。 （発言・シート）〈B-c, e, f〉
５分	④　次時の学習の見通しをもつ。（全体） ・お店の人とお客さんの気持ちを考えて、よりよく提案できそう。 ・早くお店の人に伝えに行きたいな。 ・お店の人が喜んでくれるといいな。 ・もう一度作戦を考え直したい。	・ハッピー大作戦をさらにパワーアップさせるという次時の見通しをもつことができるように、お店の人もお客さんも笑顔になれるような解決策を考えることができたことを価値付ける。

※１・２年次研究の成果と課題

令和８年度 はばたき学習（総合的な学習の時間）実践・研究計画

部　員	○大森 果歩、伊藤 智美、山田 幹、石井 知徳、大山 光子

Ⅰ　はばたき学習における自律した学習者の姿

１　自分たちの活動に価値を見いだし、思いや願いを強め、主体的に探究に向かう姿
２　自他のもつ概念のずれに着目し、自分にとってよりよい概念へと更新する姿
３　単元で形成した概念を更新して活用する姿

Ⅱ　はばたき学習における授業デザインの取組

Ａ　思いや願いを強めて探究に向かえるように、現状把握に関連付いた課題設定や新たな方策の工夫
Ｂ　自分にとってよりよい概念へと更新できるように、自分と他者のもつ概念とのずれの背景を思考ツールを用いて整理・分析する場の設定
Ｃ　単元で形成した概念を活用できるように、形成する概念のつながりを意識した単元構想と単元配列

Ⅲ　１・２年次研究で生成した仮説

	問題解決に没頭する子どもの姿 （数字は、自律した学習者との関連）	要因・手立て （英字は、授業デザインの取組との関連）
一年次	自分の好きなことを満足に行うために、児童同士が互いに呼び掛けたり、やり取りをしたりして関わり合いを求める姿（１、２）	子どもの「こうしたい」という思いを尊重して信じて委ねる教師の心構えや、好きなことを自由にできる環境を設定し、それぞれの活動を行う上で現れてくる課題を解決していく単元を構成したこと（Ａ、Ｂ、Ｃ）
	活動過程を振り返り、遊びの中にあった学びの要素を活動に意味付け、変容していく姿（１、２）	自己理解につなげるため、なぜそのゲームを選んだのか、どのような困難が解決しそうなのかを問い掛ける問答を繰り返したこと（Ａ、Ｂ）
二年次		

Ⅳ　１年次研究の課題と、改善するための手立て

	課題となった子どもの姿 （数字は、自律した学習者との関連）	改善するための手立て （英字は、授業デザインの取組との関連）
一年次	子どもたちの自主性を尊重したことで、ただ楽しむだけで終わってしまい、学びに結び付かない子どもの姿（１、２）	課題意識をもち、実践して確かめ、また新たな課題をもつという過程で、学校内外の人や場所を活用する活動を展開したり、自身の内面や考え方の変容、学びを自覚することができるように振り返りを積み重ねたりする。（Ａ、Ｂ）

3年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a　問題発見 **＜A問題発見力＞**	先行経験を活かして対象とかかわり、自分で問題を見付ける。
b　課題設定 **＜B状況知・方法知＞**	教師の支援のもとに、疑問に感じたことを課題につなげる。
c　計画 **＜B状況知・方法知＞**	解決の方法や手順を、学級やグループで相談しながら立てる。
d　情報収集 **＜B状況知・方法知＞**	課題に応じた情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネット等）で情報を集める。
e　整理分析 **＜B状況知・方法知＞**	収集した情報の中から大切な情報を選択する。
f　まとめ 表現 **＜B状況知・方法知＞**	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g　報告・発表・ 討論 **＜B状況知・方法知＞**	写真や図を用いてキーワードを示しながら説明する。
h　学ぶ意味や 価値 **＜D生き方・考え方＞**	学習を始める前との自分の考えや意見の違いに気付く。
a　意思決定 **＜C実践力・実行力＞**	これからのことを考えながら、今、自分にとって必要なことは何かを考える。
b　課題解決 **＜C実践力・実行力＞**	対象となる人・自然・社会に適応したマナーや方法でかかわる。
c　実践力 **＜C実践力・実行力＞**	自分の願いをもって、自分なりにできる働きかけをする。
d　生き方 **＜D生き方・考え方＞**	自分のがんばりやよさに気付き、これからの生活について考える。
a　受容 **＜D生き方・考え方＞**	異なる意見や他者の考えを受け入れる。
b　協働 **＜D生き方・考え方＞**	互いのよさを見付け合いながら、協力して活動する。
c　環境 （人、社会、自然） **＜D生き方・考え方＞**	地域を見直し、そのよさを感じながら、対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

・　各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。

４年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

ａ　問題発見 **＜Ａ問題発見力＞**	先行経験を活かして対象とかかわり，自分で問題を見つける。
ｂ　課題設定 **＜Ｂ状況知・方法知＞**	教師の支援を生かしながら，疑問に感じたことを課題につなげる。
ｃ　計画 **＜Ｂ状況知・方法知＞**	解決の方法や手順を学級やグループで相談しながら立てる。
ｄ　情報収集 **＜Ｂ状況知・方法知＞**	課題に応じた様々な情報収集方法（インタビュー，図書資料，インターネット等）で情報を集める。
ｅ　整理分析 **＜Ｂ状況知・方法知＞**	収集した情報の中からキーワードを中心に大切な情報を選択する。
ｆ　まとめ・表現 **＜Ｂ状況知・方法知＞**	言語，表，グラフ，図，音楽など様々なものから選択して，相手に伝わりやすい方法，自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
ｇ　報告・発表・討論 **＜Ｂ状況知・方法知＞**	写真や図を用いてキーワードを示しながら説明する。
ｈ　学ぶ意味や価値 **＜Ｄ生き方・考え方＞**	学習を始める前との自分の考えや意見の違いに気付く。
ａ　意思決定 **＜Ｃ実践力・実行力＞**	これからの学習内容や方法を考えながら、自分にとって必要なことを決める。
ｂ　課題解決 **＜Ｃ実践力・実行力＞**	対象となる人・自然・社会に適応したマナーや方法でかかわる。
ｃ　実践力 **＜Ｃ実践力・実行力＞**	自分の願いをもって，これからの生活において自分なりにできる働きかけをする。
ｄ　生き方 **＜Ｄ生き方・考え方＞**	自分のがんばりやよさに気付き，これからの生活について考える。
ａ　受容 **＜Ｄ生き方・考え方＞**	異なる意見や他者の考えに耳を傾け，受け入れる。
ｂ　協働 **＜Ｄ生き方・考え方＞**	仲間のよさを見付け，互いのよさを活かしながら活動する。
ｃ　環境（人，社会，自然） **＜Ｄ生き方・考え方＞**	地域を見直し，そのよさを感じながら，対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

・　各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して，実社会や実生活の事象に着目し，多様な角度から考えたり，実社会や実生活の文脈，自己の生き方と関連付けて考えたりする。

5年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a　問題発見 **＜A問題発見力＞**	目的に応じて対象に対するかかわり方を変え，吟味・修正しながら，問題を見つける。
b　課題設定 **＜B状況知・方法知＞**	自分や友達の問題を大切にしたり，予想にもとづいたりしながら，課題を設定する。
c　計画 **＜B状況知・方法知＞**	解決の方法や手順について自分で考えたり，友達と相談したりしながら立てる。
d　情報収集 **＜B状況知・方法知＞**	自分が調べたいテーマに応じて様々な情報収集方法（インタビュー，図書資料，インターネット等）で情報を集める。
e　整理分析 **＜B状況知・方法知＞**	収集した情報の中からキーワードを中心に大切な情報を選択する。
f　まとめ・表現 **＜B状況知・方法知＞**	言語，表，グラフ，図，音楽など様々なものから選択して，相手に伝わりやすい方法，自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g　報告・発表・討論 **＜B状況知・方法知＞**	発表会や情報交換の規模，発表の仕方に応じた準備を整えたり，写真や図を用いてキーワードを示しながら説明したりする。
h　学ぶ意味や価値 **＜D生き方・考え方＞**	学習を始める前と後での自分の考えや意見の違いに気付き，自らの成長ととらえる。
a　意思決定 **＜C実践力・実行力＞**	これからの学習内容や方法を吟味しながら、自分にとって必要なことを決める。
b　課題解決 **＜C実践力・実行力＞**	計画にもとづいて対象となる人・自然・社会の様子に応じてかかわり解決する。
c　実践力 **＜C実践力・実行力＞**	自分の願いをもって自分や周囲に対して適切に働きかける。
d　生き方 **＜D生き方・考え方＞**	自分のがんばりやよさに気付き，成長をこれからの自分の生活に生かしていこうとする。
a　受容 **＜D生き方・考え方＞**	学習を通して共通性，法則性を見付けたり，異なる意見や他者の考えを受け入れたりする。
b　協働 **＜D生き方・考え方＞**	仲間のよさを見付け，互いの知恵を生かしながら活動する。
c　環境（人，社会，自然） **＜D生き方・考え方＞**	自分たちの生活を見直し，そのよさを感じたり発見した課題を整理したりしながら対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

・　各教科等における「見方・考え方」を総合的に活用して，実社会や実生活の事象に着目し，多様な角度から考えたり，実社会や実生活の文脈，自己の生き方と関連付けて考えたりする。

6年生の総合的な学習の時間で身に付けたい「資質・能力」

a　問題発見 **＜A問題発見力＞**	目的に応じて対象に対するかかわり方を変え、吟味・修正しながら、問題を見つける。
b　課題設定 **＜B状況知・方法知＞**	自分や友達の問題を大切にしたり、予想にもとづいたりしながら、課題を設定する。
c　計画 **＜B状況知・方法知＞**	解決の方法や手順について自分で考えたり、友達と相談したりしながら立てる。
d　情報収集 **＜B状況知・方法知＞**	自分が調べたいテーマに応じて様々な情報収集方法（インタビュー、図書資料、インターネットなど）で情報を集める。
e　整理分析 **＜B状況知・方法知＞**	収集した情報の中からキーワードを中心に、自分の課題解決に大切な情報を選択する。
f　まとめ・表現 **＜B状況知・方法知＞**	言語、表、グラフ、図、音楽など様々なものから選択して、相手に伝わりやすい方法、自分自身の考えがまとめやすい方法で表現する。
g　報告・発表・討論 **＜B状況知・方法知＞**	発表会や情報交換の規模、発表の仕方に応じた準備を整えたり、写真や図を用いてキーワードを示しながら説明したりする。
h　学ぶ意味や価値 **＜D生き方・考え方＞**	学習を始める前と後での自分の考えや意見の違いに気付き、自らの成長ととらえる。
a　意思決定 **＜C実践力・実行力＞**	これからの学習内容や方法を吟味しながら、今、自分が取り組んでおかなければならないことや必要なことを決める。
b　課題解決 **＜C実践力・実行力＞**	計画にもとづいて対象となる人・自然・社会の様子に応じてかかわり解決する。
c　実践力 **＜C実践力・実行力＞**	自分の願いを明確にして、自分や周囲に対して適切に働きかける。
d　生き方 **＜D生き方・考え方＞**	自分のがんばりやよさに気付き、成長をこれからの自分の生活に生かしていこうとする。
a　受容 **＜D生き方・考え方＞**	学習を通して共通性、法則性を見付けたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりする。
b　協働 **＜D生き方・考え方＞**	仲間のよさを見付け、互いの知恵や自他の学びの成果を生かしながら活動する。
c　環境 （人、社会、自然） **＜D生き方・考え方＞**	自分たちの生活を見直し、そのよさを感じたり発見した課題を整理したりしながら対象に働きかける。

総合的な学習の時間の学びを深める「見方・考え方」

・　各教科等のおける「見方・考え方」を総合的に活用して、実社会や実生活における事象に着目し、多様な角度から考えたり、実社会や実生活の文脈、自己の生き方と関連付けて考えたりする。